

全国農業教育新聞

民の希いは 繁栄の 歴史新たに おこるとき
進む技術の研鑽に 喜び集う 農場協会

第589号 平成30年3月15日

(年4回発行)

3号

発行所
全国高等学校農場協会

東京都渋谷区
円山町2-20



今年も夏季休業中に支部大会がおこなわれました。
詳しくは協会ホームページをご覧ください。

北海道支部大会

7月25日(火)～26日(水)

北海道帯広農業高等学校
とかちプラザ

6次産業化や法人化、
対応した経営感覚の醸成を
図るにはいかにあらべきか

「持続可能で多様な環境に
対応したグローバル人材育
成の充実を図るにはいかに
あるべきか」 「科学的な根
拠を踏まえた地域資源の活
用やヒューマンサービス分

用があるべきか」 「地域課題に即した実践的
なプロジェクト指導はどの
ようく展開すべきか」

講演 株式会社ノベルズ
代表取締役 延興雄一郎様

東北支部大会

第15回 東北支部大会

8月17日(木)～18日(金)

山形県立置賜農業高等学校
山形国際ホテル

「農業教育における原則履
修科目の教科指導はどうあ
ればよいのか。」 「先進的
で魅力のある農業教育の実
践はどうあればよいのか。」

「豊かな人間性を育み、生
徒一人ひとりの個性の伸長
を図るキャリア教育推進の
農業教育はどうあればよい
のか。」 「生徒の実践的・創
造的な態度・能力を育む農
場運営はどうあるべきか。」

講演 「農工連携で生み出す
アグリビジネス」
山形大学 教授 城戸淳二

野における創造的・実践的
な人材育成の充実を図るに
はいかにあるべきか」 「生
徒が積極的に取り組む学校
農業クラブ活動を目指し、
農業クラブ三大事業への指
導実践はいかにあるべきか」
「地域課題に即した実践的
なプロジェクト指導はどの
ようく展開すべきか」

第66回 関東支部大会

8月22日(月)～23日(火)

埼玉県立熊谷農業高等学校
ナチュラルファームシティ
農園ホテル

概要

「有機農業教育の実践」「特
色ある教育活動について・
・農場運営と効率的な教
育活動を目指して」 「神奈
川県農業高校の造園教育の

「ICT活用」「農業土木科にお
ける進路指導への取り組み」
「農業高校の特色を活かし
た進路指導について」「地
域と連携した生物工学科の
取り組みについて」「地域
と連携した学科の取り組み
について」

講演 「バイオエコノミー」
吉田 稔 先生



第41回 北信越支部大会

8月9日(水)～10日(木)

富山県立小矢部園芸高等学校
ホテルグランテラス富山

概要

「地域や社会の健全な発展
を担う人材育成について・
・国際感覚を兼ね備えた人材
育成」「新大会基準に基づ
いた農業クラブの指導法に
ついて」「GAPの普及・拡大
に向けて」

講演 「湧く」Project
吉田 稔 先生
(湧湧農場・プロジェクト)
名の「湧く」は水が湧く、
虫が湧くの湧くから名付け
ました。それは「無」から
有「が湧くが如く、宇宙

時代の到来!」 東京農業大
学教授 長島孝行様



の摺理に基づく根本と考えます。私たちは人々の営みの根本は自然からの恵を贈与される「農」に始まると言っています。

第17回

近東支部大会

7月27日(木)～28日(金)

奈良県立磯城野高等学校
樋原ロイヤルホテル

「栽培・飼育および流通系科目の魅力ある農業教育の創造に向けた指導の実践」

「食品加工系科目の魅力ある農業教育の創造に向けた指導の実践」「環境・ヒューマンサービス系科目の魅力ある農業教育の創造に向けた指導の実践」「地域農業や地場産業の発展に貢献できる農業教育の創造に向けた指導の実践」「地域活性化に向けた人材の育成」



性化を担う魅力ある農場運営」「地域とともに歩む魅力ある農業クラブ活動」

講演「地域活性化のための農業の役割」
（株）シンセニアン
代表取締役 勝本吉伸様

第63回

中国支部大会

8月21日(月)～22日(火)

事務局 広島県立西条農業高等学校

ホテルセンチュリー21広島

150名が参加して開催された。今年度の中国支部農業教育功労者9名を表彰された。

て、山口県立田布施農工高等学校 橋本敏次氏が表彰された。

され、山口県立田布施農工高等学校 橋本敏次氏が表彰された。

とをご教示いただいた。
その生活法則を「純粹倫理」と呼び、学問的に掘り下げるとともに、日常生活での実践を奨励し、世の中に及ぼしていく倫理運動を展開しております。

講演「畜産教育の実践および可能性について」「動植物や地域資源を活用し生活・ヒューマンサービスの実践の実践と課題」

講演「畜産教育の実践および可能性について」「動植物や地域資源を活用し生活・ヒューマンサービスの実践と課題」

講演「畜産教育の実践および可能性について」「動植物や地域資源を活用し生活・ヒューマンサービスの実践と課題」